

検見川ビーチフェスタ 2024 秋

伊藤 道男(千葉市)

日 時：2024年9月29日(日)10:00～15:00

場 所：検見川浜（稻毛ヨットハーバ周辺）（千葉市）

参加者：約300名（子ども比率は50%程度）

指導員：花島・八木・藤井・南・本多・三嶋・伊藤・小高（会員外）

この行事は検見川海浜地区のお祭りで、入口には食べ物屋台が並び、フラダンス、ダンスコンテスト、大道芸などが行われる一角で、子どもたちが自然に親しむプログラムを実施して欲しいとの依頼をうけてテント出展しているもので、4回目となりました。

ドングリゴマ作りは、マテバシイとクヌギの2種のコマづくりを体験してもらいました。ドングリに楊枝をさしただけですが、色を塗ったりキラキラシールを張ったりして人気でした。3～10歳位の親子での参加がほとんどで、色や飾りにこだわる何個も作る子どもたちの後ろから、いろいろ声をかけたり手伝ったりしながら親も楽しんでいる様子でした。

事前に用意したドングリが足りなくなり、追加でドリルを使って穴あけをしましたが、時間に追われると中心に穴をあけるのは意外に難しく、回転に影響があったかもしれません。

どんぐりゲームは、「お引っ越し競争」と「ドングリころころ」を用意し楽しんでもらいました。お引っ越し競争は、卵パックを受け皿に10個のどんぐりを箸でつかんで移動するゲームで、親子や兄弟で競争すると、箸使いがしっかりした子どもさんが勝つ場面もありました。

また、重ね合わせたプラスチックカップの間を厚紙で仕切り、そこに明けた穴を通して8個のマテバシイを反対側に移動する「どんぐり落とし」、竹の節をつかって作る「竹ぼっくり」、そうめん流しのセットにドングリを転がす「ドングリ流し」など、準備にかなりの時間と労力が必要でしたが、参加者特に子どものたちが時間を忘れて過ごしている様子が印象的でした。

通常の自然観察会ではテーマに沿ったルート設定や時間配分もあり、参加者にあまり勝手な動きをされると対応に困りますが、この種の行事は参加者の興味にそって自由に動いてもらうことができ、子どもたちの個性を受け入れながら、自然に親しんでもらうヒントがたくさんありました。



よく回りそうなドングリを選ぶ



真剣にドングリころころに



竹ぼっくりに初挑戦



ドングリ流しは幼児にも人気

検見川ビーチフェスタ 2024 秋 写真報告

開催日：2024年9月29日(日)10～16時
参加者：300人程度の親子連れ・若人

会場：稲毛海浜公園検見川地区・検見川の浜
(稲毛ヨットハーバー、ザ・サーフ オーシャンテラス周辺)



マテバシイやクヌギのドングリ流しで楽しく遊ぶ



ドングリにお絵かき



キッチンカー10台で盛況

浜辺ではフラダンス